

# コロラド州

## 航空宇宙産業

宇宙に1マイルでも近く



2021



COLORADO SPACE COALITION

コロラド宇宙連合

[WWW.SPACECOLORADO.ORG](http://WWW.SPACECOLORADO.ORG)

#MILECLOSER

# THE PERFECT ATMOSPHERE FOR SPACE

宇宙産業に最適な環境



## コロラド州が宇宙に1マイル近いというのは物語の一部に過ぎません

米国第2位の航空宇宙経済を誇るコロラド州は、移転や拡張を検討している航空宇宙企業に、米国で最も高い教育を受けた労働力、事業拡張のためのダイナミックな環境、そしてハイテク・イノベーションのハブを提供します。

コロラド州には、全米トップレベルの航空宇宙企業のうち9社が進出しています。また、米国国防総省 (DoD) の主要施設や米国航空宇宙局 (NASA) の研究開発活動に加え、州内の大学は航空宇宙工学の分野では世界最高水準にあります。

また、コロラド州には、再生可能エネルギーやサイバー分野で実用的な最先端技術を開発しているハイテク企業が多数

あり、これらの分野を横断的にサポートするイノベーションの機会に恵まれた環境が整っています。

コロラド州は米国の中央という戦略的な場所に位置するため、ワンバウンドでヨーロッパやアジアへの衛星通信が同一営業日で可能です。デンバー国際空港は、この地域や周辺の州へのグローバルゲートウェイとしての役割を果たしており、ベリーズ、カナダ、バハマ、ケイマン諸島、コスタリカ、イギリス、イタリア、フランス、ドイツ、スイス、アイスランド、日本、メキシコ、パナマなど13カ国200都市への直行便を就航しています。

コロラド州は住むのに最適な場所であり、確立されたハイパワーな宇宙産業で従事することができます。このような環境下なので、標高5,280フィート (約1,600m) にある航空宇宙企業が繁栄しているのも不思議ではありません。

## 宇宙にも、サプライヤーや契約業者にも近く

コロラド州には大手宇宙関連企業が集中しており、国防総省の防衛、軍事・国土安全保障能力を高めるための国家宇宙資産の調達、整備、管理を支援しています。コロラド州の航空宇宙企業は、NASAやその他の機関のために、有人および無人の宇宙船、計測器、リモートセンシング、地上制御およびナビゲーションサービス、打ち上げロケットを開発しています。また、500社以上の企業やサプライヤーが、宇宙関連の製品やサービスを提供しています。



# AT THE CENTER OF NATIONAL SECURITY SPACE

国家安全保障分野の中心で



## 大規模で多様な軍事施設が混在

コロラド州は米国の軍事宇宙分野の中心地です。軍司令部は、宇宙ベースの研究、開発、買収、運用の主要な顧客であり、コロラド州の今後の航空宇宙産業のさらなる成長を促進しています。

## 強固で協力的、結束力のある防衛エコシステム

コロラド州特有の航空宇宙・防衛環境は、産業、大学、民間の資産が完全に統合されたエコシステム上に構築されており、軍人が訓練、任務遂行、生活するための他に類をみない場所を提供しています。コロラド州の宇宙・防衛ミッションは、州内で選出された指導者、経済開発機関、産業界からの強固で包括的に協調したサポートによる恩恵を受けています。

### 軍事機構

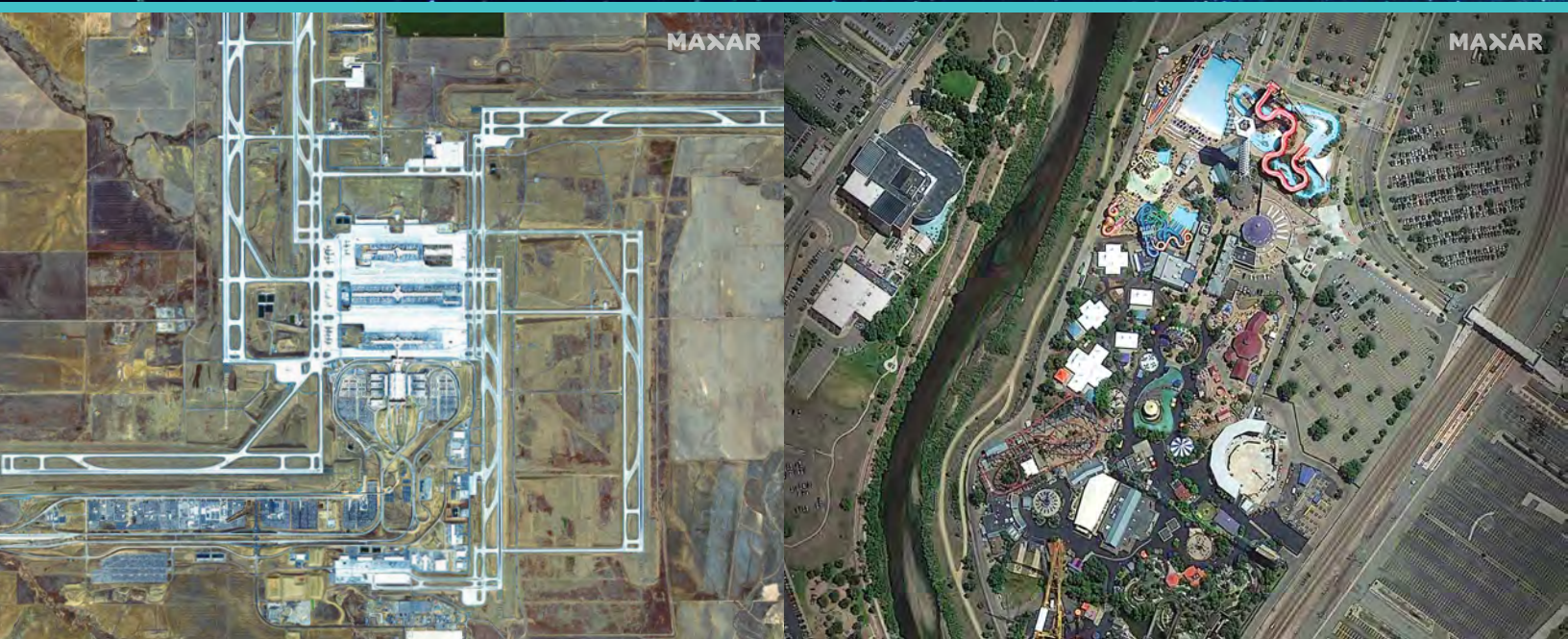
- ・ 米国宇宙統合軍 (USSPACECOM)
- ・ 米陸軍宇宙・ミサイル防衛司令部／米陸軍戦略司令部(SMDC/ARSTRAT)
- ・ 北米航空宇宙防衛司令部(NORAD)
- ・ アメリカ北方軍(USNORTHCOM)

### 軍事基地

- ・ バックリー空軍基地
- ・ ピーターソン空軍基地
- ・ シュリーバー空軍基地

# THE NATION'S SECOND-LARGEST SPACE ECONOMY

全米第2位の宇宙産業経済圏



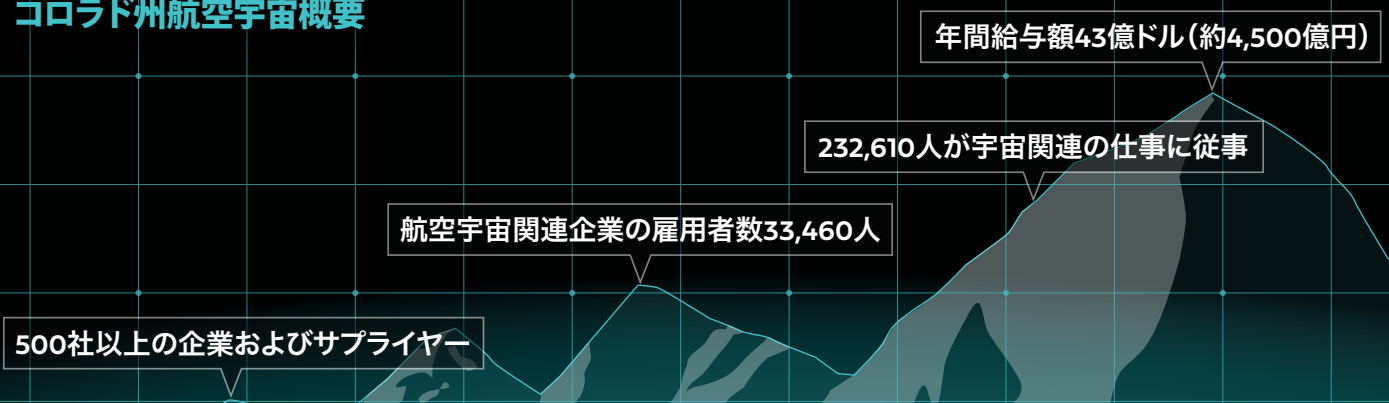
## 経済に大きな影響を与えるダイナミックな産業

航空宇宙産業は、コロラド州の経済成長の重要な原動力となっています。コロラド州は民間航空宇宙企業の雇用が集中していることで全米第1位にランクされており、従業員は3.3万人、年間給与総額は43億ドル以上に達しています。コロラド州は、航空宇宙産業と、サイバーセキュリティ、IT、クリーンエネルギーなど他のハイテク産業が融合した特長的な州であり、更なるイノベーション、コラボレーション、成長のための機会を提供しています。

## 最先端の地理空間情報技術

コロラド州は、地理空間情報技術、リモートセンシング、イメージングおよび関連産業の全米の中心地となっています。2018年、マクサー・テクノロジーズ社はグローバル本社をコロラド州に移転し2020年に地球の画像を撮影する次世代衛星WorldView Legionコンステレーションのペイロード・プロバイダーとしてレイセオン社を選定しました。需要の高い場所でマルチスペクトルの30cm解像度の衛星画像を記録するマクサー社の能力を向上させます。

## コロラド州航空宇宙概要





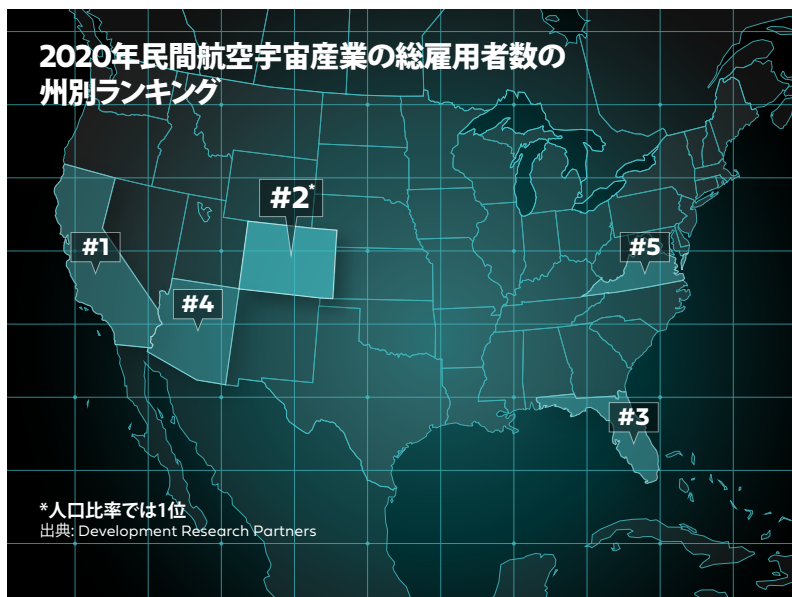
## 21世紀航空宇宙産業を担う人材育成の取組み

コロラド州の大学と研究機関は、次世代の航空宇宙産業従事者の教育を率先して行っています。

- ・ **コロラド大学ボルダー校**は、他のどの公立大学よりNASAからの資金提供を多く受けており、宇宙飛行士の育成や航空宇宙産業で働く有能な人材の育成においてもトップレベルの大学です。
- ・ **メトロポリタン州立大学デーパー校**は、航空宇宙産業の高度な製造業人材のニーズに応えるため、複数の学科を擁し、航空宇宙教育に大きな変革をもたらしています。ヨーク・スペース・システムズ社は同校と提携して本社を移転し、キャンパス内に製造施設とミッション・オペレーション・センターを新設しました。
- ・ コロラド州の3つの大学(コロラド大学ボルダー校、コロラド鉱山大学、デーパー大学)は、**大学宇宙研究協会**のメンバーであり、宇宙科学または宇宙工学の大学院プログラムを持っています。
- ・ コロラドスプリングスにある**米国防空軍士官学校**は、航空宇宙工学で全米第1位の学部課程を提供しています(博士課程は設けられていません)。

- ・ **コロラド州宇宙助成金コンソーシアム**には、州内の21の大学・機関が参加しており、革新的なコースや望遠鏡・衛星を使った実地体験プログラム、インタラクティブな支援プログラムを通じて、学生に宇宙へのアクセスを提供しています。
- ・ **コロラド鉱山大学の宇宙資源プログラム**は、発展途上の宇宙資源分野における科学者、エンジニア、経済学者、起業家、政策立案者の教育に焦点を当てた世界初の学際的な大学院プログラムです。

## 2020年民間航空宇宙産業の総雇用者数の州別ランキング



\*人口比率では1位  
出典: Development Research Partners

# LEADING THE NATION'S MOST NOTABLE AEROSPACE PROJECTS

## 米国で最も注目される宇宙プロジェクトを主導



**先進EHF通信衛星 (AEHF: Advanced Extremely High Frequency)** - 6衛星コンステレーションの最後の先進EHF衛星は、2020年3月にユナイテッド・ローンチ・アライアンスのアトラスVロケットで打ち上げられました。ロッキードマーチン・スペース社が米国宇宙軍のために製作した6機の静止衛星のコンステレーションは、世界中の軍隊への通信を可能にし、戦闘機をより安全で高性能にします。

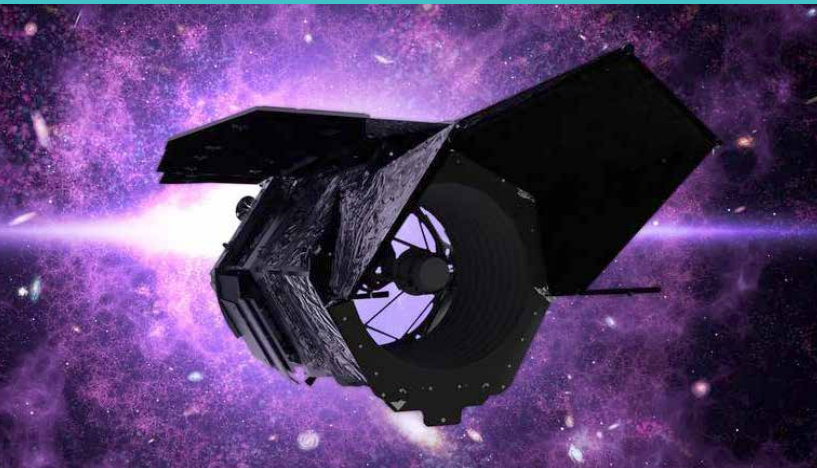
**ドリームチェイサー(DREAM CHASER®)宇宙船** - ルイスビルに拠点を置くシエラ・ネバダ・コーポレーション(SNC)スペース・システム社は、コロラド州に拠点を置く他の航空宇宙企業との密接な協力により、ドリームチェイサー宇宙船を開発しています。SNCが所有・運用するドリームチェイサーは、再使用可能なマルチミッションの宇宙ユーティリティ・ビークルです。ドリームチェイサーは、国際宇宙ステーションがある地球低軌道との間で輸送サービスを行うことができ、滑走路着陸が可能な唯一の商業リフティング・ボディ機です。ドリームチェイサー・カーゴシステムは、CRS-2(Commercial Resupply Services 2) 契約に基づいて、NASAが宇宙ステーションへの貨物輸送および廃棄サービスを提供するために選定されました。シューティング・スター貨物モジュールは、ドリームチェイサーに15フィート(4.6メートル)の長さで装着されており、ペイロード用の追加ストレージや柔軟なミッションオプションを提供し、地球大気圏再突入時の貨物処理を容易にします。

**全地球測位衛星システム(GPS)** - ロッキードマーチン社は、米国空軍が現在のGPS衛星コンステレーションを新技術と新機能で近代化することを支援しており、ジェファーソン郡の施設で最大32基の次世代GPS III衛星を製造しています。これまでに設計された中で最も強力なGPS衛星であるGPS IIIは、精度が3倍、ジャミング耐性が8倍向上し、他の国際衛星航法システムと互換性のある新しい民生用信号を提供します。新しいGPS III衛星は2018年12月に打ち上げを開始しました。

**GOES-R** - ロッキードマーチン社は、次世代静止気象衛星である静止気象衛星Rシリーズ(GOES-R)を開発しており、GOES-R(2016年打上げ)、GOES-S(2018年打上げ)、GOES-T、GOES-Uが含まれます。GOES衛星は、米国海洋大気庁(NOAA)の国立気象局をはじめとする官民両セクターに、予測や警告のための重要なリアルタイム観測を提供しています。

**GPS OCX** - レイセオン社のGPS次世代運用制御システム(GPS OCX)は、2017年に納入されて以来、米国空軍の最初の2基の近代化されたGPS衛星の宇宙への打ち上げをサポートし、両基をそれぞれの最終軌道に移動することに成功しました。GPS OCXは、米国空軍が主導するGPSシステムの近代化に向けた取り組みのうち、地上管制部分を強化したものです。次世代衛星と組み合わせることにより、GPS OCXは精度を向上させ、2倍以上の数の衛星を飛行させることができ、到達困難地域のカバー率を高め、これまでの国防総省の宇宙システムの中で最高レベルのサイバーセキュリティ保護を提供しています。

**InSight** - ロッキードマーティン社は、NASAのインサイト(InSight: Interior Exploration using Seismic Investigations, Geodesy and Heat Transport)ミッション用の火星着陸探査機を製造しました。インサイトは、火星や地球のような岩石質の惑星の形成過程を理解するための、NASAディスカバリークラスのミッションです。2018年に打ち上げられ、ロッキードマーティンのチームは、火星への7カ月の旅で探査機を操作し、地表への着陸に成功し、現在も地表での運用を行っています。インサイトの火星滞在1年目の初期成果には、地殻磁化の証拠、予想外の大气プロセス、火星で初めて検出された「火震(マーズクエイク)」の測定などが含まれます。



**マーズ2020** - NASAのマーズ2020ミッションは、2020年にULAによって打ち上げが成功しました。2021年2月にローバー「パーサヴィアランス」が着陸し、2年間の火星表面の探査を開始しました。ロッキードマーティン社は、火星への旅と地表への降下中にローバーを保護するエアロシェルとヒートシールドを製造、シエラ・ネバダ・スペースシステム社は、降下ブレーキ、ロボットアームやサンプルキャッチシステムのアクチュエータなど、ローバーの重要なハードウェアを製造しました。

**ナンシー・グレース・ローマン宇宙望遠鏡** - ボール・エアロスペース社は、ローマンミッションのために、NASAの広視野観測装置(WFI)の光学・メカニカル・アセンブリを設計・開発します。ローマンミッションは、ダークエネルギーとダークマターの性質について解明するとともに、太陽系外縁部、太陽系外惑星、近傍および遠方銀河の恒星群などについてこれまでにない見解を提供することが期待されています。ボール社は、WFIの光学的、機械的な組立、統合、試験をサポートし、WFIの広視野で、高品質な観測を可能にする安定した構造と熱環境を提供します。

**NEXTSTEP-2** - シエラ・ネバダ・コーポレーション社とロッキードマーティン社は、NASAの次世代宇宙探査技術パートナーシップNextSTEP-2 (Next Space Technologies Exploration Partnership-2) の一環として、地球の軌道外で活動し、生活する宇宙飛行士の為に月周回有人拠点ゲートウェイのプロトタイプおよび火星の深宇宙居住モジュールの概念検討を開始しました。フェーズ2の契約の作業には、居住可能なメインとなる実物大の地上プロトタイプの構築が含まれます。

**オリオン** - ロッキードマーチン社は、人類を月や火星などのLEO域外に輸送するために設計されたNASA初の宇宙船、オリオン探査機を製造しています。ロッキードマーチン社のオリオン総合テストラボは、NASAの有人宇宙船のテスト施設としては初めて、契約企業の敷地内に建設されました。

2014年に大成功を収めた最初のテストフライトに続き、オリオンの次のフライトは、NASAの新しいスペース・ローンチ・システム(SLS)ロケットで打ち上げられるアルテミスIとなる予定です。

**OSIRIS-REx** - ロッキードマーティン社は、小惑星サンプルリターンミッションであるNASAのオシリスレックス(OSIRIS-REx: Origins Spectral Interpretation Resource Identification Security-Regolith Explorer) 宇宙探査機を製造しました。2016年に打ち上げられ、目標とする小惑星ベンヌに到達し、2020年に着陸に成功し、小惑星のサンプルを回収しました。オシリスレックスは2023年にサンプルを地球に持ち帰る予定です。

**ユナイテッド・ランチ・アライアンス (ULA)** - センテナリアルに本社を置き、1,100人以上の従業員を擁するULAは、140回以上の打上げを連続成功させている米国で最も経験豊富な宇宙開発企業です。2021年、ULAはボーイング社との提携を継続し、アトラスVロケットでスターライナー・カプセルを打ち上げます。これは、NASAの商業クルー・プログラムを支援するもので、宇宙飛行士をアメリカ国内から宇宙へ送り出します。ULAはアトラスとデルタ・ロケットの実績ある伝統に、新しい技術と革新的な機能を組み合わせ、信頼性とコスト効率の高い打上げサービスを提供する、専用のヴァルカン・セントール・ロケットの開発も行っています。

**WSF-M (WEATHER SYSTEM FOLLOW-ON - Microwave)** - WSF-Mは、宇宙ベースの環境モニタリング(SBEM)の重要な要求に対応する国防総省のプログラムです。海洋表面ベクトル風、熱帯低気圧の強さ、LEOの高エネルギー荷電粒子の特性(宇宙天気ギャップ)というSBEMの3つの重要なギャップに対応する環境情報を軍に提供します。ボール・エアロスペース社は、WSF-Mミッションの主要契約会社であり、打ち上げ用のペイロード、宇宙探査機、完全に統合された宇宙船を提供します。

# OUR WORLD REVOLVES AROUND SPACE

私たちの世界は宇宙を中心に回っている



## 世界有数の研究機関と研究所

コロラド州の主要な研究機関と連邦政府研究所の高い集中度は、州のダイナミックなイノベーション経済に大きく貢献しています。

- **米国海洋大気庁**(NOAA: National Oceanic and Atmospheric Administration)、**大気研究大学団体**(UCAR: University Corporation for Atmospheric Research)、**アメリカ大気研究センター**(NCAR: National Center for Atmospheric Research)はボルダーにあり、世界の気象、気候、宇宙環境、海洋資源の調査・監視など、大気および関連科学の研究を行っています。
- コロラド大学ボルダー校の**大気・宇宙物理学研究所**(LASP: Laboratory for Atmospheric and Space Physics)は、将来の宇宙科学者や技術者を育成する場とし実績があり、大学を基盤とする機関としては世界で唯一、NASAの宇宙機器を設計・製造し、太陽系のすべての惑星に打ち上げられています。
- コロラド州立大学の**大気研究共同研究所**(CIRA: Cooperative Institute for Research in the Atmosphere)は、NASAと提携し、地球規模の気候研究、衛星観測、大気質測定を行っています。
- 全米科学財団と天文学研究大学協会は、**米国国立太陽観測所**(NSO: National Solar Observatory)の本部としてコロラド大学ボルダー校を選定し、科学者、エンジニア、管理スタッフが加わり、すべてのデータ分析と計測器開発を管理することになりました。
- ボルダーにある**米国標準技術研究所**(NIST: National Institute of Standards and Technology)は、測定科学、標準、技術の発展により、米国のイノベーションと産業競争力を促進します。
- **環境科学研究共同研究所**(CIRES: Cooperative Institute for Research in Environmental Sciences)は、NOAAとコロラド大学ボルダー校が共同で運営する研究所で、環境化学・生物学、大気・気候力学、太陽地球環境などの地球システム科学の研究を行っています。
- コロラド州は、**全米科学財団の地球科学部門**が支援する研究の中で最大のポートフォリオを有しており、10億ドル以上の契約が締結されています。

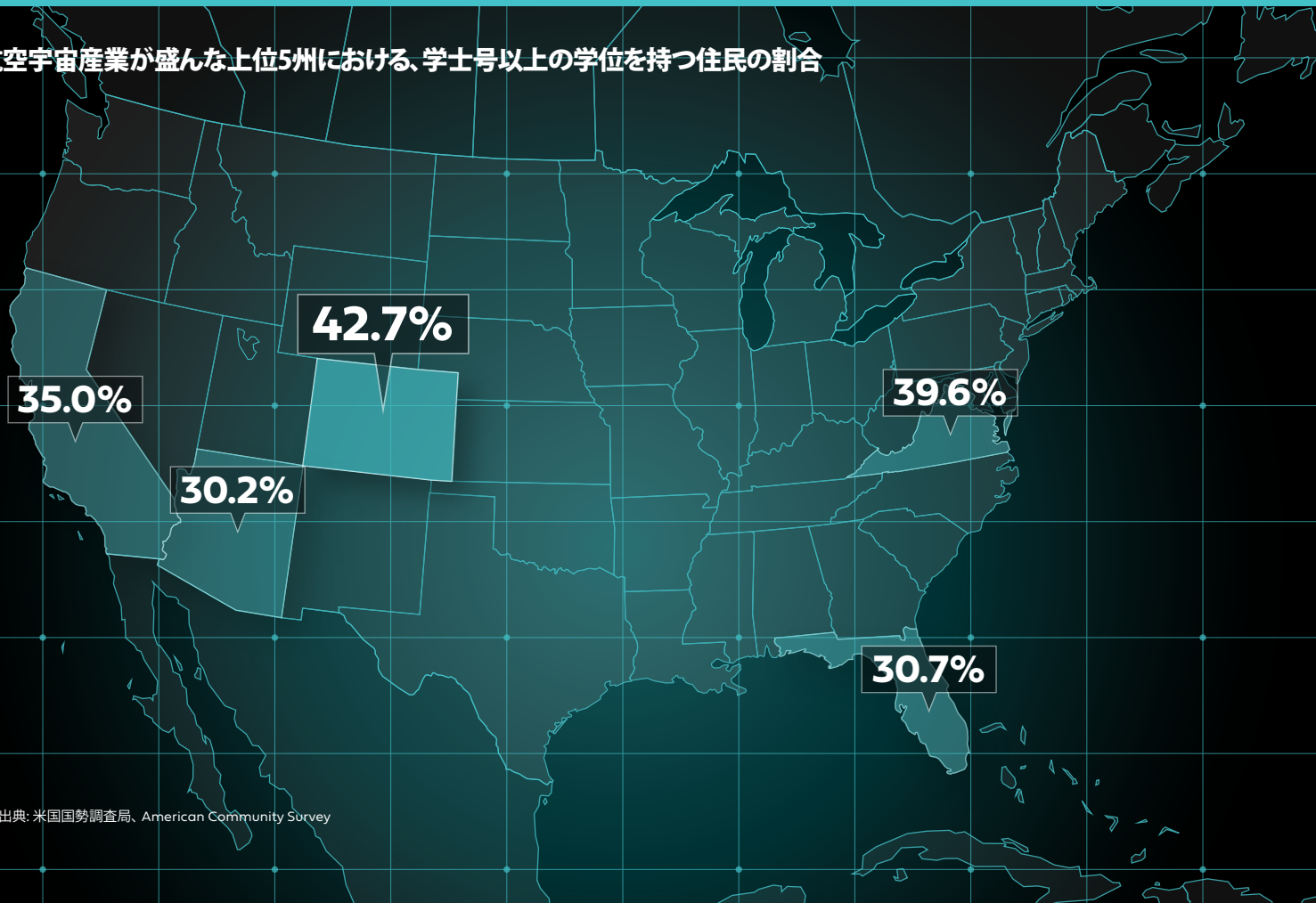


## コロラド州 - 航空宇宙産業に最適な環境

- 民間航空会社の雇用集中度で全米第1位
- 経済的パフォーマンスで全米第2位
- 学士号以上の学位を持つ住民の数で全米第2位
- 州の科学技術指数で第2位
- 雇用者数1,000人あたりのハイテク雇用割合で第4位
- NASA主要契約数で第4位



## 航空宇宙産業が盛んな上位5州における、学士号以上の学位を持つ住民の割合



# OUR WORLD REVOLVES AROUND SPACE

私たちの世界は宇宙を中心に回っている



## 商業宇宙活動の拠点

- ラブランドに拠点を置く **ザ・ウエアハウス**社は、NASAの Adopt-An-Accelerator プログラムにおける初のビジネスアクセラレーターパートナーで、選ばれたクライアントに最大40時間のNASAのコンサルティングを受ける機会を提供し、技術開発や問題解決を支援しています。
- コロラド大学ボルダー校は、連邦航空局の**商業宇宙輸送センター**(Center of Excellence for Commercial Space Transportation)の中核メンバーです。このセンターでは、政府、産業界、学術機関が集まり、商業有人宇宙飛行、宇宙商取引、打ち上げのオペレーションと宇宙交通管理、ロケットシステムに重点をおき取り組んでいます。
- コロラドスプリングスにある**キャタリスト・キャンパス**(Catalyst Campus for Technology & Innovation)は、航空宇宙、防衛・国土安全保障、エレクトロニクス、情報技術、先進製造業などの先進産業を対象に、産業、教育、ベンチャーキャピタルを促進するための集中型エコシステムを構築しています。
- コロラド大学ボルダー校の**エアロスペース・ベンチャーズ**(AeroSpace Ventures)は、キャンパス内に10以上の航空宇宙関連ユニットを擁し、大学の研究所、センター、政府の研究所、産業界のパートナーを結集して、無人航空機、小型衛星、地球・宇宙センサーに焦点を当てた新技術を開発しています。
- アダプト(ADAPT: Alliance for the Development of Additive Processing Technologies)は、コロラド州の産学官コンソーシアムで、データに基づく課題に取り組むことで、メンバーが金属積層製造のグローバルリーダーになることを目指しています。
- **EWI**のコロラド州ラブランドの拠点は、コロラド州の産業用ネットワーク「Colorado FourFront」の一部であり、コロラド州の航空宇宙産業の顧客に先進的な非破壊検査と品質測定技術を提供しています。
- **国家安全保障イノベーション・ネットワーク**(NSIN: National Security Innovation Network)は、米国防総省のプログラムで、主要な研究大学やベンチャー・コミュニティのパートナーと協力して、戦闘機の実戦上の問題に対するソリューションを提供しています。コロラド州にあるNSINのロッキー山脈地域事務所は、軍事改革者と従来型でない問題解決者との間の触媒的な衝突を促進するプログラムとサービスを提供しています。

## コロラド・エア&スペースポート

2018年、コロラド・エア&スペースポートは、連邦航空局がサイトオペレーターライセンスを承認したことを発表し、商業宇宙の研究、開発、輸送におけるコロラド州の継続的な発展に向けて大きな一歩を踏み出しました。

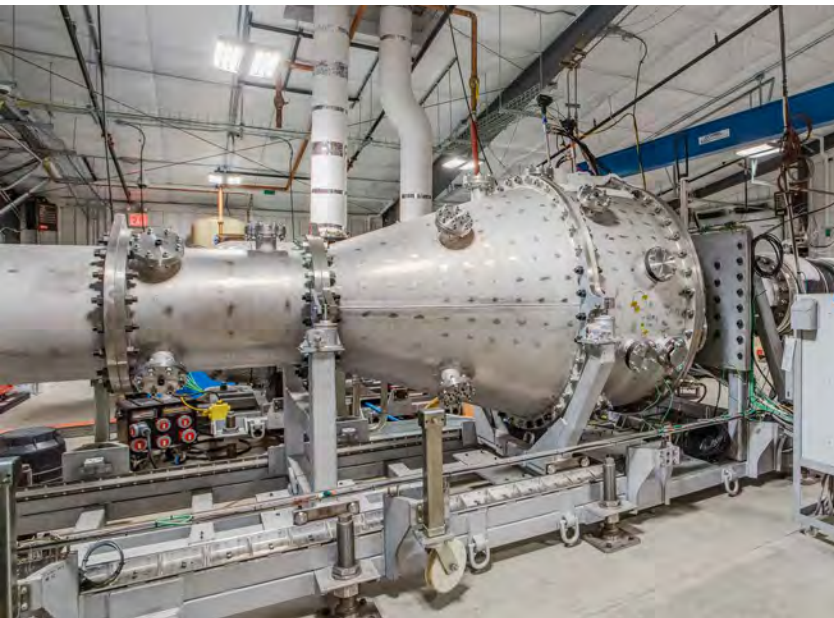
コロラド・エア&スペースポートの計画には、研究開発、試験・評価、製造、乗組員訓練、科学研究、弾道飛行、2地点間移動など、幅広い活動と商業機会をサポートする航空宇宙・テクノロジーパークの開発が含まれています。アダムス郡に位置するコロラド・エア&スペースポートは、周辺に広大な土地があり、デンバー国際空港へのアクセスが便利で州内の大規模な航空宇宙産業、研究大学、優秀な航空宇宙産業の人材という比類のない組み合わせを提供しています。



## 無人航空機システムの研究開発の最前線

コロラド州は、無人航空機システム(UAS)の研究開発のリーダーです。コロラド州は、無人航空機システムに関する豊富な学術的専門知識に加え、商業および軍事用UAS活動の活発な拠点となっています。

様々な空域、環境条件、地形を持つコロラド州は、連邦、州、民間のUASの研究と運用に理想的な地理的位置を提供しています。コロラド州では、UASの組み立て、打ち上げ、運用テストエリアの拡大に積極的に取り組んでおり、山岳地帯、農耕地帯、谷間、河川へのアクセスが可能な高地のテストサイトを提供しています。その中には、チャフィー郡のUASテストエリアや、サンルイスバレーの8,000平方マイル(20,720km<sup>2</sup>)の空域が含まれており、最高15,000フィート(約4,570m)の高さまで試験飛行を行うことができます。



# A COMPETITIVE BUSINESS ENVIRONMENT

競争力のあるビジネス環境



## 起業家精神に溢れ、ビジネス・フレンドリーな州

コロラド州は、起業家精神旺盛なビジネス環境を持つ先進的な州です。航空宇宙企業が契約を獲得し、ビジネスを成長させるためには、官民間の緊密な協力関係が必要です。

- ・コロラド州は、規制の障壁が少なく、法人所得税が一律4.63%と全米で最も低い州のひとつです。
- ・コロラド州では、企業の州内での売上に対してのみ税金を課す単一要素配賦制(single-factor tax apportionment)を採用しています。
- ・コロラド州の航空宇宙企業の60%以上は従業員が10人未満で、コロラド州の起業家精神と革新的なビジネス文化を反映しています。

## 税金について

政府の法人税および個人所得税

課税年度開始日

2000年1月1日	4.63%
1999年1月1日	4.75%
1999年1月1日以前	5%

## 売上税

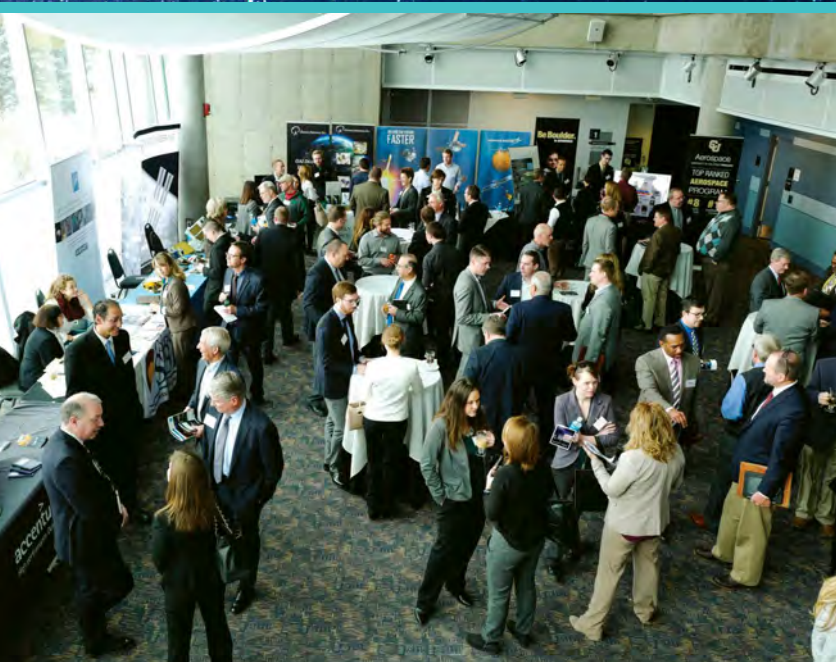
州、地方、特別区域 合計 3.25%-9.25%

## マイルハイ・イノベーション

2014年に開設されたデンバーの米国特許庁(USPTO)は、米国西部地域で最初に業務を開始しました。USPTOがデンバーを選んだ理由は、この地域には科学技術系の学位を持つ人々が最も集中しており、生活費も比較的安く、最も優秀な労働者を確保するのに望ましい場所だからです。



コロラド州は、2016年に人口100万人あたりの特許発行数で第9位にランクされており、USPTOのサテライト拠点であるデンバーは、コロラド州の羨望の的となっているハイテク・イノベーション経済の拡大に貢献し続けています。



## 航空宇宙ビジネスを推進するインセンティブ

- ・ **事業成長に対する税制の優遇措置**は、企業がコロラド州経済開発委員会(EDC)に申請することで、新規雇用の創出による給与税コストに基づいて州所得税の控除を受けることができる制度です。適用を受けるためには、地域内で少なくとも20の新規雇用に創出し、地域の平均賃金を上回る賃金を支払う必要があります。EDCに承認されると、企業は雇用創出に伴う連邦社会保障税および医療保険税の支払い額の半分(各雇用の年間賃金の約3.8%)が控除されます。
- ・ コロラド州には、企業が軍やその他の資金を獲得するための支援を行う16の**調達支援センター**が州内に設置されています。
- ・ コロラド州では、宇宙飛行に使用される適格資産に対する**売上・使用税の免除制度**を制定しました。
- ・ コロラド州は、スペースポート・コロラドへの道筋をつけるために、連邦航空局のライセンスを保有して宇宙飛行活動を行う**公的および民間団体の賠償責任を制限**することで、州の航空宇宙経済の拡大を支援する法案を可決しました。
- ・ **先進産業(AI)アクセラレーター・プログラム**では、航空宇宙を含むコロラド州の先進産業の成長と持続性を促進するために、4種類の助成金とグローバルなビジネス支援プログラムが用意されています。



## 質の高い労働者を惹きつけ維持する環境

コロラド州には、年間約300日の晴天や、他に類を見ない大自然やアウトドア活動へのアクセスなど、高学歴で生産性の高い労働力を惹きつけ、維持するためのあらゆる条件が整っています。その他の人口動態統計でも、幸福度が高く、身体活動の割合が全米で最も高く、肥満率が最も低いことが挙げられています。

# ADVOCACY FOR THE AEROSPACE INDUSTRY

航空宇宙産業の擁護



コロラド州航空宇宙・防衛産業推進役のジェイ・リンデル退役米空軍少将、コロラド州副知事のダイアン・プリマベラ氏(右)

## 州のリーダーシップからのサポート

コロラド州のリーダーシップは、州の航空宇宙産業を拡大するために積極的に取り組んでいます。コロラド州議会議員団は、州の学術、軍事、商業航空宇宙インフラへの継続的な投資を確保するために、長期的で協調された統一のアプローチを提供するために活動しています。2013年、ヒッケンルーパー州知事は、コロラド州の航空宇宙・防衛産業推進役にジェイH. リンデル少将を指名しました。リンデル氏は、州の航空宇宙戦略計画の実施を監督し、航空宇宙企業、防衛施設、研究機関が政府および民間部門との情報ネットワークを確立できるよう支援しています。

コロラド州ダイアン・プリマベラ副知事は、航空宇宙合衆国協会(ASA: Aerospace States Association)の副会長を務めています。ASAは、各州の副知事、知事が任命した代表者、準会員からなる組織で、連邦政府の航空宇宙・航空政策の策定において各州の利益を代表しています。

また、コロラド州議会では毎年**エアロスペース・デー**が開催され、州の経済成長における航空宇宙産業の重要性が認識されています。2015年には、コロラド州議会が超党派の航空宇宙・防衛議員連盟を結成し、州内における産業の継続的な拡大をさらに支援しています。

## コロラド宇宙連合について



[www.spacecolorado.org](http://www.spacecolorado.org)

業界関係者で構成されるコロラド宇宙連合(CSC: Colorado Space Coalition)は、コロラド州を宇宙開発の中心地にするために活動しています。航空宇宙企業、研究機関、学術団体、経済開発団体などのメンバーは、コロラド州の重要な航空宇宙資産を全米に広めるとともに、産業の成長と成功に不可欠な法案を推進しています。CSCは、メトロデンバー経済開発公社の業界団体です。コロラド州経済開発・国際貿易局は、CSCのマーケティング活動に資金面で協力しています。

CSCのメンバーは、コロラド州全体にまたがっており、様々なバックグラウンドを持っていますが、目標は一致しています。CSCは、コロラド州が全米第2位の航空宇宙経済圏としての地位を拡大するために、次のような取り組みを行っています。

- ・コロラド州における新規企業の開拓と既存の航空宇宙産業の雇用拡大
- ・コロラド州の宇宙産業のマーケティングとプロモーション
- ・コロラド州の軍事、商業、民間の宇宙資産へのサポートを提供
- ・航空宇宙に関する主要な問題について、コロラド州議会の代表団との対話の維持
- ・州内の宇宙関連企業間のネットワークとコラボレーションの拡大
- ・コロラド州の航空宇宙関連の労働力増加
- ・コロラド州の科学、技術、工学、数学(STEM)教育への資金提供を支援



航空宇宙合衆国協会のコロラド支部は、CSC、コロラド宇宙ビジネスラウンドテーブル、宇宙開発を支持する市民団体のコロラド支部で構成されています。このパートナーシップは、業界イベント、アウトリーチ活動、アドボカシー活動を共同で行っています。



2020年コロラド州議会エアロスペース・デー

## 銀河系の中で最も知的な生命体の本拠地

高度な教育を受けた航空宇宙産業の従業員、主要契約業者やサプライヤー、世界的な研究施設、米国の軍事宇宙センターなどに近い場所をお探しでしたら、ぜひコロラド州でみてください。コロラド州の宇宙フレンドリーな環境は、御社の繁栄に役立つ豊富な資産を提供します。



**COLORADO SPACE COALITION**  
A MILE CLOSER TO SPACE

AFFILIATE OF



Metro Denver EDC

1445 Market Street  
Denver, CO 80202  
303.620.8133

[info@spacecolorado.org](mailto:info@spacecolorado.org)

[www.spacecolorado.org](http://www.spacecolorado.org)

[#MileCloser](https://twitter.com/MileCloser)